

HOYOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1999.9.10 126号



「つどい」で献花する木村さん(9/18)

九月十八日、東京都千代田区の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑に、僧侶・門信徒二〇〇人が集まり、「第十九回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」が営まれた。

千鳥ヶ淵法要に109人

教区から 非戦の決意表明

管まれており、今回は平成六年以来五年ぶりに、ご門主がご臨席され、昨年の倍の参拝者が集った。

兵庫教区からは、山本宣昭教区会議長、森本信行組長会長を中心に、百九人が三団にわかれて参拝し、すべての戦没者に対する追悼のまことをささげるとともに、

は仏教婦人会委員長の木村久子さんが華を供えた。献花の後、橋本明宣師(山陰教区高林坊)の記念布教があった。

つどい終了後、雅楽の響く中、ご門主がご臨席になり、「追悼法要」が厳修され、導師の豊原総長を先頭に各教区教務所長が出動、その後、ご門主による焼香があり、豊原総長の表白、正信偈が読まれた。

正信偈読経中、宗務関係者、各国大使や政財界からの来賓が焼香をおこない、続いてすべての参拝者が一人ひとり焼香し、戦争の犠牲者を偲んだ。

読経後、豊原総長は「戦争が終わってすでに五十四年が経過したが、その爪あとはいまだ消えてはいない。今年の七月に沖繩を訪問したが、同世代の方々が受けた苦しみを痛感した。世界の中にはいまだ動乱が続いているところもある。形だけの平和ではなく、こころの平和が訪れる日が待ち遠しい。そのためにも、阿彌陀如来のご本願、宗祖親鸞聖人のお示しになったお念仏を大切に、聞法をしていかなければならない」とあいさつされ、あらためてこの法要の意義を示した。



核家族、少子化が言われてから随分たつた、これからの寺院経営について、特に過疎地における末寺の実態は、まさにそのように当てはまってくるのではないか。

老夫婦のみの家、老人一人暮らしの家、そして後継者は都会での生活。お念仏を子へ孫へ相続させていく難しさが、ひしひしと身に染みくる今日である。十八年前より小学生対象にお経を教えてきた。まず躰が大事、靴の脱ぎ方、並べ方、本堂での座り方など、六年生を中心に下級生に指導である。習慣になると毎年上級生が引き継いでくれる。お経を教えているうちに、何とか自然にお念仏の音が、との期待はむなし。しかし、休みが終わりに近づくと、大きな声であげる子、小さい声の子、千差万別である。

◆元旦会を勤めると、子どもに言われて若い親が参ってくるようになった。有り難いことである。この姿で、お念仏を子より孫へ伝えることができたと思う毎日である。

(杉浦弘純)

教区だより		10・11月	
10月15日(金)～16日(土)	別院常例布教	宏林教正師	13:30
10月16日(土)～17日(日)	近プロ仏青研修会	京都亀岡	
10月17日(日)～18日(月)	住職総参拝事前研修会	本山	
10月19日(火)	寺婦研修会		10:30
10月19日(火)～20日(水)	青僧会布教研修会	出石・西方寺	
10月20日(水)	揖龍東組ご消息披露	揖龍東・清光寺	
10月21日(木)	阪神西組ご消息披露	阪神西・西福寺	
10月23日(土)～24日(日)	第3連区門推研修協議会		13:00
10月26日(火)	総代会ブロック研修会(姫路)	姫路中・光源寺	
10月27日(水)	総代会ブロック研修会(丹波)	多紀・尊宝寺	
10月28日(木)	総代会ブロック研修会(但馬)		豊岡教堂
10月29日(金)	青僧会役員会		17:00
10月30日(土)	保育園長・主任研修会		13:30
11月2日(火)～3日(水)	住職総参拝事前研修会		本山
11月4日(木)～5日(金)	第3連区青年布教使研修会		13:00
11月6日(土)	淡路組ご消息披露		淡路・専修寺
	別院第一土曜仏教講座	金子正美師	13:30
	「愚痴のある人生」		
11月7日(日)	別院仏婦定例法座	松田義孝師	13:30
11月9日(火)	仏婦近畿大会		奈良
11月12日(金)	赤穂南組・北組ご消息披露		赤穂南・永應寺
11月14日(日)	仏社ブロック研修会(岡山)		パティオ221
11月15日(月)～16日(火)	別院常例布教	川端正道師	13:30

平成12年度 「法語カレンダー」



毎年、真宗教団連合から発行されています。お念仏に生きた人たちの法味豊かな言葉とともに、子どもたちが描いた絵を配した、親子みやすいカレンダーです。

一冊七百三十円です。カレンダーともお申し込みください。詳細は、担当一田まで。

この教区報は、教区内寺院や門推の皆様などにお送りしております。その他購読希望の方がおられましたら、住所・氏名を明記の上、八十円切手十二枚を添えて、教務所内広報部までお申し込みください。(編集部)

ほ〜ゆ〜法湯

私自身にビハラーを!!

〜「ビハラー兵庫」からのご案内〜

深まらう。ワークをつくりましょ。

秋の城崎温泉で心をフレッシュしませんか。併せて出石市内の石市内

◆【期日】一九九九(平成十一年)十一月二十九日(月)〜三十日(火)◆

◆【会場】出石町内(勝林寺・特老ホーム出石荘・ここへの家協同作業所)

◆【日程】午後一時三十分・集合(昼食)午後三時・開会式/午後六時・施設見学/午後六時・夕食懇親会・宿泊(城崎温泉みつわ旅館)◆【参加費】無料・ただし夕食懇親会参加八〇〇〇円(宿泊される方は一五〇〇〇円)◆【その他】交通アクセス他、詳細はビハラー兵庫事務局(担当長尾)まで。

敬 弔

崎本つねさん(さきもと・つね) 阪神西組真光寺前坊守) 8月11日、89才で往生。葬儀は8月31日。「唯信院釋連常」。

善藤哲子さん(よしふじ・てつこ) 城崎組信楽寺前坊守) 9月10日、68才で往生。葬儀は9月12日。「唯明院釋尼静哲」。

横山正憲師(よこやま・まさのり) 姫路南組善止寺衆徒) 9月13日、84才で往生。価格是一部百五十円(送料実費)です。

ご希望の方はお早めに電話かハガキにてお申し込みください。

また、同時にカレンダーの法語の味わいを、大田利生、岡橋聖舟、小川真理子、豊島宇由の各氏が、やさしく綴った法話集「仏ともどもに」(月々のことは)も取り扱っております。価格は一冊七百三十円です。カレンダーともお申し込みください。詳細は、担当一田まで。

例年の通り「法」シリーズ報恩講号を製作します。一部百二十円(送料実費)で、百部以上は無料で寺号を印刷します。是非ともご門徒向けの文書伝道としてご活用ください。

詳細は、担当稲岡まで。

報恩講の「法」を門徒に

葬儀は9月15日。「釋正憲」。山内憲由師(やまうち・のりよし) 神戸中組光輪寺衆徒) 9月15日、53才で往生。葬儀は9月17日。「宝樹院釋憲由」。

廣澤伴緒師(ひろさわ・ともお) 阪神北組最徳寺住職) 9月18日、56才で往生。葬儀は9月20日。「廣徳院釋伴緒」 阪神北組副組長。

藤原重信師(ふじさわ・しげのぶ) 新宮組潮音寺住職) 9月19日、66才で往生。葬儀は9月21日。「寶海院釋重信」 新宮組組長。

差別事件への姿勢学ぶ

兵庫教区点検学習会

〔差別法名・過去帳調査報告書に基づく協議会〕と題し、八月二十六日、部落解放同盟兵庫県連合会、岡山県連合会と共に「兵庫教区点検学習会」が開かれた。

この学習会は、教団の抱える差別体質の克服にむけ、学習会を通し問題の本質に迫ろうというもので、今回は前回（九十六年二月）県連が提起した十二の課題について、教区その後の取り組みが報告され、これに対して県連が質問するかたちで進められた。

当日の進行予定は、前回の経過報告後、①糾弾会回答書に基づくその後の取り組み、②差別法名・過去帳調査報告、③調査表未提出寺院への働きかけ、④今後の課題、⑤まとめと確認の議事五点。

開会式にあたり、高橋教務所長は「糾弾会、過去帳の調査を通し、それをまとめていくなかで、僧侶一人ひとりが、長い歴史の中で宗祖の教えにそむき、また

差別体質を抱えたままであったという事実を前に、御同朋・御同行の社会をどのようにめざし、信頼を回復していくかが問われている」と学習に対する決意をあらわした。



また、兵庫県連橋本委員長は「世の中を見ると、日本はどうなっているのか、いくことが大変不安に思える。これに対する宗教者の役割は、これから非常に大きなものとなる。宗教者と

しての姿勢を点検し、釈尊の教え、親鸞聖人の教え、蓮如上人の教えを受け継いで、人間のあり方を求めていってほしい。」と述べた。さらに「この点検は、県連がどう評価するかということよりも、教団の中でしっかりと認めたうえで、運動がなせなかったかをも一度考え、そこから具体的な取り組みを考えていってほしい。」と学習の目的を再確認した。

協議会でもっとも大きな課題となった問題は、前回の経過報告、またその後の取り組みの中で、「本願寺派関係学園理事長協議会における差別事件」への取り組みであった。

この取り組みに対するおまな問題は、回答書中で連続差別事件について「教団が内包している差別構造と差別意識が、そのまま個人の差別行為となって表面化したもの」としているにも関わらず、この事件が差別発言に関わった個人間の

問題となっている点であった。これは、差別行為そのものではなく、なぜ差別が起こったかを深く追求しなげれば、それに対する教団としての責任も明らかになら

行動する聞法者をめざす

第12回 若婦人のついで

今回で第十二回をむかえる仏教婦人会連盟（木村久子委員長）主催の「若婦人の集い」が、九月七日、神戸別院ホールで開催され、約五百人の若婦人が参集した。

この研修会は若婦人がみ教えに遇える場とすることを開催主旨として、毎年開催され、今回は「念仏の声を世界に子や孫に」―行動ある聞法者―のテーマで開催された。

ご消息披露相次ぐ

（佐用・多可・網干・阪神南）
・氷上西・阪神北・神明

若婦人の集いが別院で。別院仏婦定例法座、講師は黒田真隆師。京都の本願寺角坊別院仏教婦人会が別院に参。安芸教区安芸北組総代会が別院に参。東京教区静岡西組長榮寺が別院に参。8日連研推進委員会が別院で9日門徒総代会阪神・神戸ブロック研修会が別院で、講師は太田唯念師。



「ほほえみとともに」を合掌 (9/7)

委員会が津村別院にて。布教団若手役員会が別院で15日別院常例布教、講師は應供乗生師（16日まで）16日門推常任委員会が別院で17日寺願寺会館にて。加古川学園教誨18日千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が東京の千鳥ヶ淵にて。仏青研修会が別院で（19日まで）20日仏婦委員総会が別院で。滋賀教区高島組寺族婦人会が別院に参。21日新宮組々長藤原重信師葬儀に高橋所

ないし、教団全体の課題として広がりを持つこともできないのではないかとといった内容のもの。このほか、運動が当該寺院だけのものとなってはいないか、基幹運動に対して「ご消息」が発表されたことの意味がしっくり受け止められていないのか、門信徒まで確実に届いているのかという指摘もあった。今回は時間切れのため、差別法名・過去帳調査報告書の議題については協議を進めることがかなわなかったが、解放同盟の「差別事件は糾弾するが、差別者を恨むことはない」という差別をなくすための基本姿勢をふまえるながら、今後の取り組みについて進めていくことを確認した。

台湾大震災に義援金 仏婦が五十万円

九月二十一日未明に発生した台湾大震災に対し、兵庫教区仏教婦人会では、同じく震災に見舞われた経験を持つひとりとして、ダイナ献金より五十万円の義援金を送った。

仏教婦人会では、先のトルコ大震災についても、同じく五十万円の支援をしている。

この大震災に対する義援金の宗派受入口座は以下の通り。

◆台湾大震災災害義援金受入口座◆郵便振替/口座番号〇一〇〇〇一四一六九九五七七◆加入者名/たすけあい募金◆通信欄に「台湾復興義援金」と明記のこと。

HO日誌

◆8月1日別院暁天講座が別院で、講師は棚原正智師「私と軀」、法話のあと別院仏婦の奉仕により参拝者に朝粥が振舞われた◆2日別院暁天講座が別院で、講師は小原唯信師「ただ信をとれ」◆3日別院暁天講座が別院で、講師は岡本幸信師「味わいと計らい」。播磨学園盆法要◆4日賦課金制度委員会が京都の聞法会館にて（5日まで）。加古川学園盆法要◆5日網干組仏婦三十周年大会が御津町文化センターにて、記念講演は河村とし子氏（山口）、講師は「みほとけさまとの日ぐらしを」。石川県法の法栄寺でらこやルンビニーが別院に参◆6日第一土曜仏教講座を別院で、講師は武田達城師「死を大切に」。全国真宗青年の集いが安芸教区にて（8日まで）。門推の日◆10日別院盆参り（15日まで）。NHK京都文化センターが別院に参◆15日別院五箇盆会が別院で◆16日教務所・別院夏季休暇（20日まで）◆17日トルコ大震災発生、仏婦ダイナ献金より義援金50万円が送られた◆20日



カニを作ろう!! (8/20)

少年連盟震災支援一日日校クラフト教室が別院で、講師は小野正信さん「竹細工カニを作ろう」。基推常任委員会が別院で◆21日住職総参拝事前研修が本山で。ふじの里夏祭り◆22日別院子ども会サマースクールが別院で（23日まで）◆24日仏婦常任委員会が別院で。京都教区上東組仏教婦人会が別院に参◆25日赤穂北組西光寺仏教婦人会が別院に参◆26日基推常任委員会・点検学習会が別院で◆27日近同推会議が同朋センターにて。青僧会役員会が別院で◆28日佐用組ご消息披露が法覚寺にて。東西保育研修会が大派の姫路野里保育園にて、本派からは66人が参加、この研修会は東西両派の保育連盟が共同で真宗保育に取り組み

網干組仏婦が三十周年

九同推合同会議が同朋センターにて。本山坊守式◆10日網干組ご消息披露が円通寺にて。門徒総代会東播磨ブロック研修会が播磨中組善称寺にて、講師は太田唯念師。